

7月号

ハニ養だより



青森県立八戸第二養護学校
令和7年6月20日

カッコウの鳴くころ

校長 小笠原 雅和

カッコウは「夏鳥」として知られ、鳴き声は春から初夏にかけて聞かれるようになり、八戸でも最近はその声を聞くことが多くなりました。遠くから聞こえる「カッコウ、カッコウ」という澄んだ声は、昔から苗や作物を植える風習があり、いよいよ本格的な夏へという時期でもあります。

学校も新学期がスタートして2ヶ月が経ち、児童生徒のみなさんも学校生活に慣れ、カッコウの声とともにギアが一段上がったように元気な姿が見受けられます。暑さに負けずがんばろう！



小学部:バケツ稲作り



中学部:職場体験(コープるいけ店)



全校:避難訓練

御報告

去る6月11日(水)青森県特別支援学校 PTA 連合会(特 P 連)総会と連絡協議会がありました。本校 PTA からは、大向副会長さんと小林副会長さんが知的障がい部会と二北・三八地区部会へ出席しました。また、昼食会の際に行われた学校紹介では、本校の PTA 活動の紹介をしていただきました。ありがとうございました。